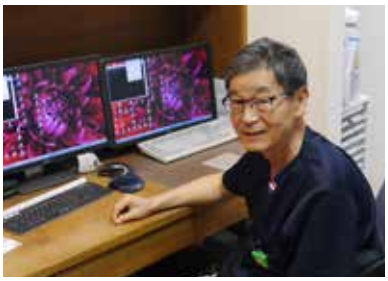
連携医院のご紹介

今回は廿日市市阿品台にある「最も身近な地域のかかりつけ医」をモットーに診療を展開されているきむら内科小児科医院の木村 泰博 院長にお話を伺いました。



木村院長

きむら内科小児科医院

〒738-0053
広島県廿日市市阿品台四丁目17-31
電　話／0829-39-2238
院　長／木村　泰博
診療科目／内科、消化器科、小児科

木村内科小児科医院外観

○力を入れている事などを教えてください。

当院は医院を構える阿品台の完成と同時期の 1983 年に開院いたしました。それ以来最も身近な地域のかかりつけ医として診療を続けております。
開院当初は小児診療のニーズが高かったのですが時代の移り変わりから小児だけでなく高齢者の診療が増えております。

なかでも広範囲に渡る在宅緩和ケアを含む訪問診療に力を入れており、病気を抱えながら在宅生活をおこなわれている方のご自宅へ出向いて診療をさせていただいたり、デイサービスや訪問看護ステーションも開設しております。

その他にも高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満といった生活習慣病の診療にも力を入れております。

○毎日の診察で大切にされている事や、やりがいは何ですか？

患者さんとの信頼関係を何より大切にしております。
相談があればできる限り早く訪問診療をおこない、直接お会いして信頼関係を築くことが重要です。そのため常日頃からフットワークを軽くして細やかに動くことを意識しております。

また、地域包括ケアシステムを実現するために行政機関や介護保険関係の支援者とも密に連絡を取り合い、医療と介護の連携を通じて地域の皆様に住み慣れた場所でいつまでも暮らしていただけるよう努めております。

高齢化が進むなかで、開院当初から診療を続けている患者さんが出産を経て、そのお子さんがまた診療にきてくださることもあり、かかりつけ医として大変感慨深く、やりがいにつながっています。

この度次男が診療に加わることになり、より充実した医療を継続したいと考えています。

受付

デイサービスきむら みんなの家

2021年5月に取材しました

きむら内科小児科医院ＨＰ